

平成30年度 認知症地域支援推進員 活動報告書（1）（河南町）

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

介護予防教室、認知症講演会、認知症サポーター養成講座、地域での認知症予防講習会、認知症カフェへの参加、認知症ケアパスの説明。

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

認知症の診断を受けていなければ、認知症サポート医や認知症疾患医療センターを紹介。介護サービスを利用しておらず、介護サービスが必要な人には介護申請の方法を説明したり、ケアマネジャーにつないだりしている。医療と介護の連携を図るための笑顔れんらく帳に認知症についての内容を掲載している。

III 若年性認知症の人やその家族への支援

対象者は把握していない。

IV 認知症の人の介護者への支援

介護者から電話や窓口での相談に対応。必要な機関につないだり、認知症ケアパスを渡し、認知症の人への対応方法等を説明。認知症カフェへの参加。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

認知症サポーター養成講座の開催。認知症カフェへの参加。

VI 会議や研修等の実施及び参画

介護予防教室、認知症講演会、認知症サポーター養成講座、地域での認知症予防講習会を実施。